

インドネシア水道に係る情報収集 No. 190701W

検索サイト	Google	実施日	2019/07/13	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; https://en.antaraneews.com/news/127943/indonesia-to-host-second-asia-international-water-week					
標題：Indonesia to host second Asia International Water Week					
題名；インドネシアが第2回アジア国際水週間（AIWW）を開催					
内容；インドネシアで開催される水関連の国際会議と今後の活動についての紹介。					
<p>1. 今後の会議予定とその準備に対する大臣の発言。</p> <p>会議予定；第2回アジア国際水週間 AIWW（バリで開催予定）：2020年11月3日～7日 AIWW開催準備のためのステークホルダー協議会；2019年11月11, 12日開催予定</p> <p>★第2回 AIWWの準備に関し、公共事業・公共住宅大臣 Basuki Hadimuljono は、 「イベントを成功させるためには、地方自治体と民間の利害関係者との間の協力が必要」と述べ、災害リスクに対する国民の意識の高めることが重要であると付け加えた。 (2019年6月28日)</p> <p>2. 覚書（MoU）（インドネシア公共事業公営住宅省、オランダ国インフラ水管理省及び韓国国際協力機構（KOICA）との間で締結。）について； 覚書の調印は、首都沿岸総合開発（NCICD）フェーズ II への協力に関するもの。 6月27日、大臣（Basuki Hadimuljono）が声明を発表し次の様に述べた。 「韓国とオランダ政府の支援に対して感謝の意を表明する。インドネシアは洪水、海水の堤防越流、及び12cm/年にも及ぶジャカルタの地下水位低下を防ぐためにこの覚書が必要であり、インドネシアは韓国からの専門知識と支援を必要としている。」 KOICA 会長の Lee Mi-Kyung は、「交通・水・環境等の分野における協力関係は長年継続しており、インドネシアは都市開発における共同パートナーある。」と述べた。</p> <p>3. 首都沿岸総合開発（NCICD）について； その目的は、社会経済面、都市計画面、環境面を総合した、戦略的・適応的な方法により、地盤沈下による北部ジャカルタの水不足や洪水リスクから首都ジャカルタを短期的、中期的、長期的に守る事である。</p>					

第1段階（フェーズⅠ）では海に20.1キロメートルの堤防を建設し、洪水、満潮時の海水の越流、ジャカルタ市の地下水位の低下を防ぐために、特に脆弱な地域を保護する。

この応急的な堤防の建設は次の2つの事業によるものとされている。

- ① 公共事業省事業（2018年に完成した4.5kmの堤防の建設）。
- ② ジャカルタ州政府とその地域の民間の利害関係者による開発プロジェクト。

備考；韓国国際協力機構；Korea International Cooperation Agency（KOICA）

国家資本統合沿岸開発；

The National Capital Integrated Coastal Development（NCICD）